

医療が変わる……乳酸菌製剤、食物の正しい知識を解説

オーラル プロバイオティクス セラピー

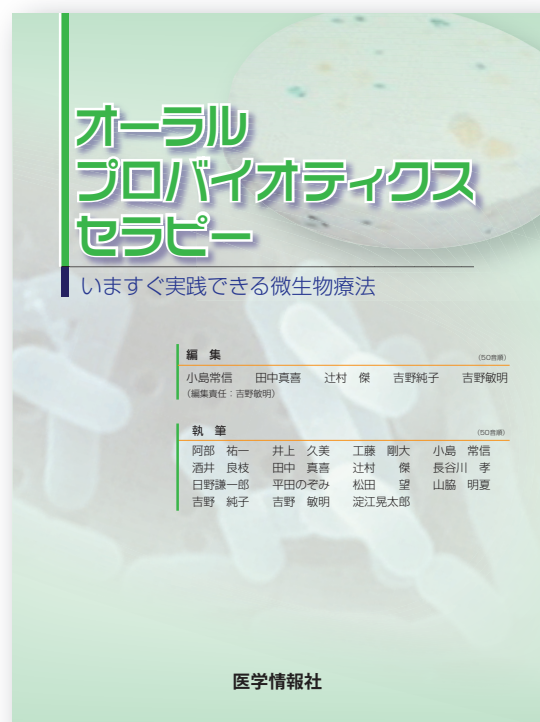
●いますぐ実践できる微生物療法●

急速に浸透しつつあるプロバイオティクスの歯科における入門書です。
予防診療にも採り入れられ、経営実績に役立っている医院が増えています。
近年、腸内細菌叢の状態が全身の健康に大きく関わるということが解明され、
細菌叢の変換が医療として採り入れられてきています。
腸ばかりでなく、細菌の種類や数が大変多い口腔においても、副作用がなく、
定着率の高いヒト由来の乳酸菌が高い効果を上げることがわかってきました。
齲蝕・歯周病原因菌を抑える原理と実践例を示す、診療に役立つ解説書です。

〈編集〉 小島 常信／田中 真喜／辻村 傑／吉野 純子／吉野 敏明
(編集責任者)

〈執筆〉(50音順)

阿部 祐一 (札幌市 すまいる歯科)
井上 久美 (伊勢原市 つじむら歯科医院・DH)
工藤 剛大 (青森市 ミドリデンタルクリニック)
小島 常信 (横浜市 誠敬会クリニック 内科)
酒井 良枝 (諫早市 パークサイドデンタルクリニック・DH)
田中 真喜 (横浜市 誠敬会クリニック 歯科)
辻村 傑 (伊勢原市 つじむら歯科医院)
長谷川 孝 (西宮市 長谷川歯科医院)
日野謙一郎 (高知市 アポロニア歯科クリニック)
平田のぞみ (伊勢原市 つじむら歯科医院・DH)
松田 望 (横浜市 誠敬会クリニック・看護師)
山脇 明夏 (豊田市 若林歯科・DH)
吉野 純子 (横浜市 誠敬会クリニック 歯科)
吉野 敏明 (横浜市 誠敬会クリニック 歯科)
淀江晃太郎 (バイオガイアジャパン(株))



■ A4変型 120頁 カラー
■ 定価 (本体6,000円+税)

ひき算 から たし算 へと変わる、

(抗生剤による細菌の減殺)

(善玉菌を加える)

菌をもって菌を制す、副作用のない新しい医療のコンセプトです。

オーラル プロバイオティクス セラピー ●いますぐ実践できる微生物療法●

主な目次

I. プロバイオティクスという概念とは

II. プロバイオティクスセラピーの最前線とエビデンス

1. 口腔におけるプロバイオティクスセラピー
2. 医療全般におけるプロバイオティクスセラピー

III. プロバイオティクスセラピーのマネージメント

1. 診療所・病院・患者への導入準備と歯科医療の問題解決
2. 診療所経営と臨床の将来計画の成功のために

IV. プロバイオティクスセラピーに先立つ各種検査

1. 口腔内細菌検査, 免疫検査の方法と臨床評価
2. 血液検査, 免疫検査, 各種画像診断と口腔と消化器との包括診断

V. プロバイオティクスセラピーの臨床

1. 臨床応用の流れ

- ①歯科治療のある場合の基本フロー
- ②歯科治療のない場合の基本フロー

2. 臨床応用の実際

①臨床応用にあたって

②症例／【症例1】「しっかり歯周病を治したい」という患者

【症例2】著しい歯肉腫脹の改善例

【症例3】齲蝕, 歯周病のリスクを持ちながら妊娠中に齲蝕治療を中断した患者

【症例4】くり返しの治療をしたくないという患者

【症例5】「予防処置を受けたい」という患者

【症例6】抗生物質を使わず菌質改善が見られた患者

【症例7】奥歯が何度も腫れては、膿が出るという患者

【症例8】咬合痛があり、たびたび歯茎が腫れるという患者

【症例9】修復物の破折で来院, 二次カリエスが多数ある患者

【症例10】過敏性腸症候群 (IBS) の治療希望の患者

Column

1. 各種乳酸菌の種類と特色／
2. 医療に用いられる乳酸菌製剤／
3. 口腔内フローラと腸内フローラについて／
4. 糞便移植／
5. 食事と腸内細菌／
6. 患者さんにおすすめの“腸トレブレッド”／
7. 腸内環境の家族性について／
8. プロバイオティクス臨床の将来

※当社へ直接ご注文の場合は、代金引換にて発送（発送手数料400円がかかります）。材料店で指定の場合はかかりません。

◆ オーラル プロバイオティクス セラピー _____ 冊

●お取引の歯科材料店

ご氏名(医院名)

ご住所 〒

TEL